

今年も感謝を込めて

「ハナミズキ祭り」を開催

ACTIVE KUMIAI

朝日通り商店街協同組合



ハナミズキ祭りの風景

朝日通り商店街協同組合(山本幸男理事長)は、4月20日(土)「第10回ハナミズキ祭り」を開催した。

ハナミズキは、平成元年に建設省(当時)のロードピア事業の実施に伴い、各個店がセツトバックし、約100本が植栽された。今年も、長さ40メートルにわたって、ピンクや白

の花が咲き誇り、今や甲府の春の風物詩の一つとなっている。

当日は、県内の福祉施設20団体が作ったパンやジャム、陶器や雑貨等をフリーマーケットで販売したほか、県内の大学生や企業等で構成した「朝日通り8者コンソーシアム(ASSH8)」が手がけたハナミズキの酵母菌を使用したパンや限定ワインの販売も行われた。

また、スタンプリヤーや先着200名に鉢植えプレゼント等のイベントも併せて行われ、大勢の人で賑わった。

同商店街で生花店を営んでいる山本理事長は、「ハナミズキはワシントンに送った桜のお返しとして日本にやって来たと言う話しはとても有名です。そのことからハナミズキの花言葉は『返礼』となったそうです。商店街は、大型店のように広い駐車場や利便性に富んではいませんが、地域のお客様が買い物をするだけでなく人と人との距離や関係が近くなる場所です。これからも訪れる方が喜んでいただけるようにやさしい町づくりを目指して行きたいです。」と語った。



朝日通りのハナミズキ

TOPICS